

熱血少年少女応援部

— スポーツ少年団 —

青少年の健全育成のために創設されたスポーツ少年団は、東京五輪の2年前に創設されました。スポーツ少年団は、同じ年の子どもと同じ目標に向かって走ったり、学年の違う子どもともふれあったりできます。この貴重な機会を体験しませんか。



■ 第1回 ■ 福原野球スポーツ少年団

導 針

強気、やる気、元気で、
目標に向かって突き進む。

元プロ野球選手が指導する。

市内のスポーツ少年団を紹介する新コーナー「熱血少年少女応援部」。第1回は元プロ野球選手が監督を務める福原野球スポーツ少年団を訪ねました。

福原野球スポーツ少年団は、福田小学校、笠間小学校、みなみ学園義務教育学校から、野球が好きなきが集まり、23名が在籍しています。

将来の甲子園球児、プロ野球選手を目指して、「打つ、捕る、投げる。」という野球の基本練習にきちんと取り組んでいます。

「基本を大事にする」「見当然のことを徹底することで、団の成績もこの数年は県大会に出場できるようになってきた、子どもたちのモチベーションも上がってきています。」

地道にやっていたいれば伸びるんです。ただそれだけです。

指導に当たる田中監督は「でも、今は勝つためにやっているんじゃないんです。子どもたちが、将来、大学レベル、社会人レベルで野球を続けていく際に、戸惑わないように指導しています。」と謙遜しながら、その意味を語ってくれました。

無我夢中でやるな。

カキーン！レフトに飛んだ打球は、選手のアたまを越す大きな当たり。選手は、懸命に追いかけて、握ったボールをためらいもなく力いっぱいバックホーム。

そのプレイを見て田中監督は「子どもたちは、常に生懸命ですよ。無我夢中でプレイします。でも、そうじゃないんです。野球のレベルが昔と違うんです。カットにしっかり投げれば、ホームでアウトをとれるんですよ。野球は頭を使うスポーツです。これを子供のころから教えないといけないんです。がむしゃらに頑張るだけじゃダメですね。」と語っていました。

今年の目標は。

昨年は関東選抜しもたて学童野球大会の決勝で敗れ、田中監督は「4対6で負けました。相手は体も大きく、体力差が違ったり勝負にならない。」と敗因を分析し、技術レベルの向上を図っています。

今年、団は学童野球選手権茨城県大会で優勝することを目標に掲げています。

福原野球スポーツ少年団の皆さん。一生懸命がんばって……

いやいや、アタマを使って、優勝を目指してください。(^^)!



主将
いしあ まこと
石川 心翔くん
捕手 右投げ右打ち

- チームの特徴は？
バッテリーを中心とした、機動力を生かせるチーム。
- 主将として心掛けていることは？
チーム全体を盛り上げ、元気にプレーすること。
- 目標を教えてください
学童野球茨城県大会で優勝すること。

- 活動拠点 福原公民館グラウンド
練習日時 土、日、祝祭日
午前9時から午後1時
目 標 学童野球選手権茨城県大会優勝
その他活動 バーベキュー懇親会
- 平成30年度の主な成績
- ・のび伸び牛乳杯第38回茨城県ちびっこ野球選手権大会ベスト16
 - ・第33回関東選抜しもたて学童野球大会準優勝
 - ・第16回樺穂ブルーエイズ学童野球大会優勝
 - ・シノワ杯第7回学童軟式野球大会優勝
 - ・日本ハム旗学童野球県大会出場
 - ・第23回ヒガカ杯球技大会第3位

団の自慢 広報担当の一押し!!

代表指導者
たなか たけひこ
田中 毅彦 監督

■Profile
昭和34年8月生まれ。土浦日大高で昭和52年春の選抜に出場。同年ドラフト6位でヤクルトスワローズに入団。昭和57年現役引退。県予選、関東大会にてホームランを連発、高校通算25本塁打、打率.471という成績を残す。元西鉄の怪童にあやかり「中西二世」と注目された県屈指のスラッガーだった。



左から、石川コーチ、田中監督、河内コーチ

— 指導者コメント —
健全な青少年の育成を目指し、将来の夢と目標の実現ができる人を育てるため指導に努力しています。弱小チームではありますが、興味のある子どもたち、保護者の方は福原公民館グラウンドに、体験練習、見学に来ていただければ幸いです。

☎ 田中 TEL.090-3813-3091